



2階LDKの腰羽目板張りが進みました。材料はパイン羽目板です。床もパインフローリングなので明るく感じます。



階段も賭け終わりベニヤ板等で養生をしてあるところです。階段がかかると2階への登り降りが楽になりますので、お施主様も2階の仕事を見る時は安心して登れます。



ウォークインクローゼットの造り付けタンスです。素材は桐ですので安心して衣類をしまわうことができます。



客間6帖の杉羽目板天井です。杉の無節無垢材の羽目板です。きれいに仕上がっています。

現場最前線 ～工事現場レポート3～

＜藤枝市大手 リフォーム工事＞

屋根の段差をなくす工事でした。寄せ棟の屋根のガレージ部分が1段下がってしまっていたので、高さを高い方に合わせ均一にしました。なぜこの工事かといえば、屋根の谷に使用されていた銅板は、瓦の釉（うわぐすり）と酸性雨で穴があいてしまいます。このお宅も築20年ということで同じ所に谷樋が瓦から落ちてくる雨を受けることで穴があいてしまって交換することになりました。そして最大の問題は寄せ棟に低い寄せ棟が差している形の屋根になっていましたので、軒天が施工できなかった所があり、そこに穴が空いている状態でしたので、その穴からハトが入り、天井に巣を作ってしまう、子供が2羽飛び立つまでに育ってしまいました。ハトの家族が住んでいて、人が家の中にいる時は静かにして音がしなかったようです。直すには、小屋組を高い屋根との段差をなくして、軒天施工ができるようにする方法しかありません。

台風15号の時の雨漏りで気がついて直すことになりまして、谷樋をステンレス製にし、低い屋根を高い屋根と1つにすることになりました。手を掛けて見ると、7業種が関わる工事で、瓦を取って高さを直すので大変な工事になりました。

瓦を取る ⇒ 構造を調べる ⇒ 新しい小屋組の刻み ⇒ 小屋組の解体 ⇒ 新しい小屋組の取付 ⇒ 屋根下地取付 ⇒ 屋根下地の防水紙の施工 ⇒ 屋根瓦の施工 で一通りの屋根工事は完了しました。屋根を一度取ってしまいましたので、2階の居室も使用しながらの工事となりますので、雨降り进行の工事で、この判断に気を遣いましたが、下の部屋への支障もなく工事を進めることができました。あとは板金工事の樋かけ、塗装工事をする事で終了になります。



～着工前～



～着工後～

現場最前線 ～工事現場レポート2～

＜焼津市上小杉に建つ家＞ (2人の住まい+4人の住まい) 敷地160.57坪

～平屋建て 在来軸組工法 延床面積28.39坪 延施工面積29.48坪～御両親の住まい
～2階建て 在来軸組工法 延床面積32.01坪 延施工面積35.16坪～若夫婦の住まい

11月27日に地鎮祭を行いまして、基礎工事へと進んでいます。12月6日現在、ご両親の住宅の基礎工事の打込みが終わり、手前側の若夫婦の住宅の基礎工事へと進みます。ご両親の上棟を12月17日、若夫婦の上棟を12月26日に予定しています。仕事は12月29日いっぱいまでやる予定です。



(株)片山建設

〒426-0041 静岡県藤枝市高柳3丁目29-15
代表取締役 片山茂夫

TEL: 054-635-7022

FAX: 054-636-2674

E-mail: info@kata-ken.co.jp

HOME PAGE: <http://www.kata-ken.co.jp>